

よみがえる

【KJKだより】

水



写真：ハクセキレイ
写真提供：安永 修氏



新年のごあいさつ

公益社団法人
香川県浄化槽協会

会長 山条 忠文

平成29年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様方におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

旧年中は、当協会の事業各般に亘り、関係行政機関並びに会員各位におかれましては、格別のご理解とご指導を賜り、厚く御礼を申し上げます。

特に昨年は、検査機関県指定30周年の記念すべき節目を迎え、記念式典を盛大に開催することができました。浄化槽法第57条の規定に基づき、昭和61年に香川県知事から浄化槽法第7条及び第11条の水質に関する検査の業務を行う協会として指定を受け、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に取り組む指定検査機関として、今日まで業務を邁進することができました。これもひとえに皆様のご指導、ご支援の賜であり重ねて御礼申し上げます。

さて、昨年の当協会の事業を振り返りますと、法定検査義務化の推進、県下全域における11条法定検査未受検者への受検啓発、さらには検査の効率化などにより11条受検基数も確実に向上してまいりました。11条受検率も50%が目の前となっており約過半数の方々に法定検査についてご理解をいただくことができました。本年も引き続き関係行政機関からのご指導、会員各位のご協力を頂きながら、浄化槽管理者の皆様のご協力へのご理解をいただくために努力をしなければならないと考えておりま

す。その他の課題といたしまして、香川県の平成27年度末の汚水処理人口普及率は74.3%であり全国平均89.9%に比べ、まだまだ低い状況にあります。公共用水域の水質保全を図るため、単独浄化槽から合併浄化槽への転換にも力を入れるとともに、公的補助の更なる拡大を要望して参りたいと思います。

また、一昨年から進めております浄化槽実態調査により検査対象基数が確定し、常に正確な台帳を維持するように努めて参りましたが、引き続き宛先不明浄化槽や休止状態となっている浄化槽などに実態調査を行い、各関係行政機関と密に連携しながら台帳整備を進めていきたいと考えております。

さらに、浄化槽普及啓発の一環として、メーカーと連携し小学校を対象とした環境教室、香川県環境森林部環境政策課が行っている「体験型環境学習プログラム実施事業」にも参加し、「環境キャラバン隊」として、小・中学校に体験型の環境学習プログラムを実施してまいりました。本年もより一層、環境教育をはじめとする浄化槽の普及啓発事業を充実させ、さらに推進してまいります。

最後になりましたが、皆様のご健勝と益々のご発展を祈願いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



新年のごあいさつ

香川県環境森林部

部長 大山 智

新年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆様方には、本県の環境行政の推進について、平素から格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、香川県は、多島美を誇る瀬戸内海に面し、讃岐山脈から流れる河川やため池など、身近に親しめる水環境に恵まれております。しかし一方では、温暖少雨の気候に加え、狭い土地を高度に利用しているため、河川などの公共用水域が水質汚濁の影響を受けやすい状況にあります。

そこで県では、公共用水域の水質改善と県民が快適で衛生的な生活を実感できる環境づくりを目指して、平成28年3月に、平成37年度を目標年次とした「第4次香川県全県域生活排水処理構想」を策定し、生活排水処理施設の効率的かつ計画的な整備に取り組んでいます。

とりわけ、合併処理浄化槽につきましては、本県における生活排水処理施設の重要な柱の1つとして、積極的に整備を進めており、平成27年度末の合併処理浄化槽の普及率は28.5%と、全国平均9.1%を大幅に上回っています。

また、浄化槽がその機能を正しく発揮するためには、適正な維持管理を行う必要があります。浄化槽管理者には、保守点検や清掃の実施とともに、法定検査の受検が義務付けられています。

平成27年度の11条法定検査の受検率は47.6%になる見込みであり、指定検査機関である貴協会のご努力により年々向上している状況です。県では、引き続き市町や貴協会と連携しながら、構想の実現に向けて、合併処理浄化槽への転換を促進するとともに、さらなる受検率の向上を図りたいと考えております。

貴協会及び会員の皆様方におかれましては、浄化槽の適正な設置や維持管理の促進を通じて、県民の安心で快適な生活環境の確保に、なお一層のお力添えをいただきますようお願いいたします。

結びに、貴協会の今後ますますのご発展と会員の皆様方のご健勝、ご活躍を心から祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。



新年のごあいさつ

高松市上下水道事業管理者

石垣 佳邦

平成29年の新春を迎え、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

皆様方には、平素より本市の生活排水対策の推進に格別の御尽力と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴協会におかれましては、日頃より浄化槽の普及促進や維持管理、また、法定検査の受検推進に関する各種啓発活動に積極的に取り組まれ、公衆衛生の向上に多大な御貢献をされておりますこと、また、本市上下水道局が主催する各種イベントに御参加いただき、深く敬意と感謝の意を表します。

さて、本市の平成27年度末の汚水処理人口普及率は、前年度から0.4%増の85.3%となりましたが、全国平均の89.9%に比べますと依然として低い水準にあります。

また、浄化槽の維持管理につきましても、貴協会の御努力により、11条法定検査の受検率が平成27年度末で、前年度から6.5%増の42.9%となったものの、依然として低い水準にあり、浄化槽の適正な管理を促す上で、受検率の更なる向上が重要な課題であると認識しております。

このような中、本市では、公共用水域の更なる水質向上を目指すため、昨年3月に「第4次高松市生活排水対策推進計画」を策定し、平成37年度の汚水処理人口普及率の目標値を90%といたしました。今後におきましては、この目標値の達成のため、効率的に生活排水処理施設の整備を行い、また、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換にも積極的に取り組むとともに、浄化槽の法定検査を始め、適正な維持管理に向けた啓発活動についても、より一層推進してまいりたいと考えております。

そのためには、貴協会を始め、関係業界の皆様方の更なる御理解と御協力、連携強化が不可欠であると存じておりますので、本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますの御発展と会員皆様の御健勝、御活躍を心から祈念申し上げ、新年の御挨拶といたします。

第30回全国浄化槽大会が開催されました

平成28年10月3日(月)、浄化槽関係19団体で構成する「浄化槽の日」実行委員会は、東京・飯田橋のホテルグランドパレスで第30回全国浄化槽大会を開催しました。全国から約800名の関係者が出席し、浄化槽適正整備推進決議の採択や浄化槽功労者の表彰を行いました。

浄化槽功労者の表彰では、当協会の理事より、環境大臣表彰については、(株)シュアテック 黒川 幸典氏、国土交通省土地・建設産業局長表彰については、日本浄化槽(株) 岡本 吉幸氏がそれぞれ受賞しました。記念講演では、元環境事務次官で中間貯蔵・環境安全事業(株)代表取締役を務める谷津龍太郎氏が「浄化槽への期待」と題して講演を行いました。



おめでとうございます



株式会社シュアテック
黒川 幸典氏
環境大臣表彰



日本浄化槽株式会社
岡本 吉幸氏
国土交通省土地・建設産業局長表彰

日本環境整備教育センター・創立50周年記念式典・感謝の会が開催されました

平成28年10月18日(火)、(公財)日本環境整備教育センターの創立50周年記念式典が「東京ビッグサイト」で開催されました。式典では功労者の表彰、感謝状の贈呈、記念シンポジウムなどが行われ、当協会は教育センターの行う登録浄化槽の実地調査業務において維持管理技術の向上に多大な貢献をしたとして、感謝状が授与されました。

その後、「東京ベイ有明ワシントンホテル」に場所を移し、関係団体や業界からは、480名程の出席があり、感謝の会が盛大に開催されました。



(公財)日本環境整備教育センター理事長 感謝状

第30回全国浄化槽技術研究集会開催される

平成28年10月17日(月)、公益財団法人日本環境整備教育センター主催の「全国浄化槽技術研究集会」が「東京ビッグサイト」で開催されました。

研究発表、式典が行なわれた後、環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課 浄化槽推進室長 吉川圭子氏が「『今後の浄化槽の在り方に関する懇談会』提言について」というテーマで、講演を行いました。

次回の開催県は岡山県の予定となっています。



全浄連四国地区協議会・指定検査機関四国地区協議会合同会議

平成28年10月17日(月)、全浄連・指定検査機関四国地区協議会 合同役員会が開催されました。

品川プリンスホテルアネックスタワーにて全浄連四国地区協議会・浄化槽法指定検査機関四国地区協議会 合同役員会が開催され、複数の議題について意見交換がなされました。



平成28年度九州地区浄化槽検査員研修会に参加

平成28年11月22日(火)、宮崎市内のニューウエルシティ宮崎にて平成28年度九州地区浄化槽法定検査員研修会が開催されました。九州地区からは88名が会場に集まりました。四国地区からは、当協会からの3名を含め9人が参加しました。宮崎県環境森林部環境管理課の東崎無我氏の講演が行われた後、各県の研究発表が行なわれました。交流会では情報交換を行い、今後の検査業務に役立つ研修会となりました。



平成28年度浄化槽整備事業市町職員研修者会(現地研修)開催される

平成28年10月7日(金)、香川県合併処理浄化槽推進協議会は、浄化槽設置整備事業における各市町の担当職員が実施する完了検査業務が円滑に行われることを目的として、高松市で市町職員研修会(現地研修)を実施しました。当協会からは宮川検査第1課長と完了検査担当の十河GLが講師として出席しました。

また、平成28年10月13日(木)には、当協会2階大会議室にて研修会を実施しました。講師に全国浄化槽推進市町村協議会 事務局長 吉野邦治氏と香川県土木部建築指導課 審査・指導グループ主任技師 永田恭平氏を迎え講習が行われました。当協会からは山下業務課長と十河GLが講師として出席しました。



平成28年度浄化槽保守点検業者技術向上現場研修会を開催

平成28年10月20日(木)、協会は、香川県の委託事業である浄化槽維持管理強化指導業務の一環として、浄化槽保守点検業者の保守点検技術向上現場研修会を、善通寺市内にて開催致しました。

講師に、公益財団法人日本環境整備教育センター 調査・研究グループ 調査研究第1チームリーダーの榎田陽明氏を迎え、午前中は吉原公民館にて「構造・機能および維持管理のポイント」について講習を行いました。

また、午後からは、同施設の浄化槽を使い、浄化槽の構造や作動の確認を行った後、保守点検を行う上での留意点について説明を行いました。

参加者からは大変勉強になったとの声を頂きました。



平成28年度浄化槽管理士研修会開催される

平成28年10月26日(水)、高松テルサにて、香川県及び高松市共催の浄化槽管理士研修会が開催されました。講師に、公益財団法人日本環境整備教育センター 調査・研究グループ 調査研究第1チームリーダーの櫛田陽明氏を迎え、「性能評価型浄化槽の構造および機能と維持管理のポイント」と題して講演が行われました。

参加者は性能評価型浄化槽の調整・保守に関係する内容に熱心に聴き入っていました。講義終了後には質問も飛び交い、大変有意義な研修会となりました。



環境キャラバン隊出動 ー環境学習を実施ー

平成28年11月2日(水)、平成28年11月9日(水)、平成28年11月16日(水)、協会は、香川県立高松北中学校(竹田忠弘 校長)で1年生118人を対象に、環境学習を実施しました。同中学校の1年生は、水の大切さや水環境について、パワーポイントを用いたスライドを視聴した後、当協会の入道検査第2課長より、仕事の内容や浄化槽で水がきれいになる仕組みについて、ミニモデルを用いて説明を受けました。

実験コーナーではCODパケットによる水質測定と透視度の測り方について実習を行いました。水質測定実習では春日川の上流と下流、うどんのゆで汁をパケットにより汚れの度合いを測定しました。透視度については、透視度計を用いて春日川の上流と下流を測定しました。

実習後、住宅が密集している下流の方が汚れていることが分かり、生活雑排水が川や海の汚れの原因の一つとなっていることに気付いて、生徒たちは自分たちにできることは何かを考えました。

この環境学習は、香川県環境森林部環境政策課が実施する「体験型環境学習プログラム」の一環で、今年度より「環境キャラバン隊」として体験型の環境学習プログラムを実施しているものです。



みとよ健康福祉まつり

平成28年10月15日(土)、協会は、「みとよ健康福祉まつり'16」に参加し、浄化槽相談、着ぐるみによるPR、浄化槽に関するクイズ及び浄化槽カットモデルやミニモデルの展示を行い、浄化槽の普及啓発活動を行いました。

浄化槽相談では、「浄化槽の撤去」「浄化槽の維持管理」等の質問があり、担当者が懇切丁寧に対応しました。浄化槽に関するクイズについては、ヒント付きにしたことで子供でも楽しんで挑戦することができました。挑戦者には参加賞として協会特製トイレトペーパーを配布し、浄化槽の啓発と法定検査のPR活動に努めました。着ぐるみ「じょうかそう君」は、大勢の子供たちから握手や写真撮影を求められ、大人気でした。

浄化槽カットモデルは株式会社ハウステックのご協力を頂き展示を行いました。



浄化槽相談コーナー



浄化槽カットモデル



じょうかそう君

善通寺農商工夢フェスタ2016

平成28年10月22日(土)、23日(日)、善通寺農商工夢フェスタ2016に参加し、浄化槽ミニ講座による浄化槽の普及啓発活動を行いました。

2日間で、270名の方がミニ講座を受講しました。また、子供を対象とした浄化槽クイズには62名が挑戦しました。



琴南地区文化祭

平成28年11月6日(日)、「第38回琴南文化祭」に参加し、パネル展示による浄化槽の普及啓発活動を行いました。浄化槽ガイドブックや法定検査に関するチラシなど、自由に持ち帰れるようにしました。



協会のうごき

10月～12月

- | | | | |
|------------|--|--------|--|
| 10月3日 | 平成28年度第4回KJK幹事会
第30回全国浄化槽大会 | 11月16日 | 環境学習（高松北中学校） |
| 10月4日 | 平成28年度第2回機関紙編集委員会 | 11月17日 | 不適正浄化槽立入指導（香川県西讃保健福祉事務所） |
| 10月7日 | 平成28年度市町職員研修会（高松市） | 11月21日 | 不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所） |
| 10月11日 | 不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所）
不適正浄化槽立入指導（香川県西讃保健福祉事務所） | 11月22日 | 九州地区浄化槽検査員研修会（宮崎県） |
| 10月12日 | 第12回KJK会ゴルフコンペ（高松ゴールドCC） | 11月24日 | 不適正浄化槽立入指導（高松市上下水道局）
不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所） |
| 10月13日 | 浄化槽行政職員研修会（協会2階） | 11月25日 | 浄化槽教室（坂出）
不適正浄化槽立入指導（高松市上下水道局） |
| 10月15日 | みとよ健康・福祉まつり'16 | 12月11日 | かがわ環境活動団体交流会 |
| 10月17日 | 不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所） | 12月12日 | 不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所）
不適正浄化槽立入指導（香川県西讃保健福祉事務所） |
| 10月20日 | 浄化槽保守点検業者技術向上現場研修会（善通寺市） | 12月13日 | 四国地区協議会事務局長会議（高知県） |
| 10月22日～23日 | 善通寺農商工夢フェスタ2016 | 12月14日 | 不適正浄化槽立入指導（小豆総合事務所）
福岡県浄化槽協会来訪 |
| 10月25日 | 平成28年度第3回会長・副会長会
平成28年度第4回理事会
第3回機能保証委員会 | 12月15日 | 不適正浄化槽立入指導（小豆総合事務所） |
| 10月26日 | 平成28年度浄化槽管理士研修会（高松テルサ） | 12月16日 | 浄化槽教室（観音寺） |
| 10月27日 | 不適正浄化槽立入指導（高松市上下水道局） | 12月19日 | 不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所）
不適正浄化槽立入指導（香川県東讃保健福祉事務所） |
| 10月28日 | 不適正浄化槽立入指導（高松市上下水道局） | 12月20日 | 全浄連臨時総会
高松市上下水道事業経営懇談会
香川県浄化槽協会工事部会検討会 |
| 11月2日 | 環境学習（高松北中学校） | 12月21日 | 不適正浄化槽立入指導（高松市上下水道局） |
| 11月5日 | 第10回四国4県親睦ソフトボール大会（愛媛県） | 12月22日 | 不適正浄化槽立入指導（高松市上下水道局） |
| 11月9日 | 環境学習（高松北中学校）
香川県浄化槽協会工事部会検討会 | | |
| 11月10日 | 建産連理事会（香川県建設会館2階） | | |
| 11月14日 | 不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所） | | |

Golf Competition



第12回 KJK会ゴルフコンペ結果報告 平成28年10月12日(水)

ゴルフと私

香川県南部浄化センター(有)
杉田 陽一

今年度も台風の影響で、雨の多い日が続いておりましたが、当日は、絶好のゴルフ日和となり、高松ゴールドカントリー倶楽部にて開催されましたことうれしく思います。

私事ではございますが、一年前に肩の手術をしており、今大会については、久しぶりの参加ということで、思うようなプレーをすることができませんでした。

しかしながら、一緒にプレーさせていただいたメンバーやハンディキャップのおかげもあり、第12回KJK会ゴルフコンペにて、初優勝をすることができ、大変光栄に思います。また、次回KJK会につきましても、連覇を目指し、練習しておきたいと思います。

最後になりましたが、木下さんをはじめ幹事の方々の御苦労に感謝いたします。

また、参加された会員の皆さま、お疲れ様でした。

於：高松ゴールドCC 《第12回KJK会ゴルフコンペ結果》

順位	参加者名	OUT	IN	GROSS	HDCCP	NET	バスマロ
1	杉田 陽一	52	49	101	28.8	72.2	
2	青田 健二	47	46	93	20.4	72.6	
3	天野 洋平	44	48	92	19.2	72.8	
4	大野 敏	52	44	96	22.8	73.2	
5	宮武 幸雄	47	48	95	20.4	74.6	
6	矢木 祐一	53	48	101	25.2	75.8	
7	大西 徹弥	47	45	92	15.6	76.4	
8	香西 岩男	46	46	92	14.4	77.6	
9	原 透	48	56	104	26.4	77.6	
10	木下 敏博	51	51	102	24.0	78.0	
11	山野 元春	46	48	94	15.6	78.4	
12	松尾 英樹	40	51	91	12.0	79.0	★
13	眞鍋 弘之	53	56	109	28.8	80.2	
14	岡本 吉幸	48	60	108	26.4	81.6	
15	三日月善夫	59	62	121	34.8	86.2	



第10回 親睦ソフトボール大会 プレイボール

平成28年11月5日(土)、浄化槽法指定検査機関四国地区協議会の第10回親睦ソフト

ボール大会が、愛媛県の今治市宮球場で開催されました。当協会からは山条会長をはじめ33名が参加しました。

開会式では、四国地区協議会を代表して一般財団法人高知県環境検査センターの本田理事長、開催県である公益社団法人愛媛県浄化槽協

会の寺井会長の挨拶後、試合開始となりました。前回優勝を逃した香川県は日頃の練習の成果が実り、三戦全勝で優勝することができました。来年は高知県での開催予定です。



事務局より

くろくろくまでした

●退職●

(平成28年10月31日付)

浜田 真輔

(検査第1課7条・竣工係)

(平成28年12月31日付)

池田 悟

(業務課業務係)



編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年も協会の皆様にとって素晴らしい年でありませう、心よりお祈り申し上げます。

最近、「食品ロス」という言葉を耳にします。まだ食べられるのに捨てている食べ物のことです。日本では、年間約六三二トンの食品が捨てられているとのこと。世界で九人に一人が飢餓に苦しんでおり、その食品援助量が三二〇トンですから、その量には驚きです。いかに日本人が贅沢であるかがわかります。

このようなことから日本各地で様々な取り組みを行っています。福井県では「宴会五箇条」なるものがあるので紹介します。

◆宴会五箇条◆

- その一 適量注文に心がけましょう。
- その二 開始十分、終了十分しっかり食べましょう。
- その三 料理が残っているテーブルから少ないテーブルへ分けましょう。
- その四 幹事さんは「食べ残しがないように！」声かけしましょう。
- その五 持ち帰り用折詰で注文するなど、工夫しましょう。

以上
これから新年会のシーズンです。宴会などの席ではどうしても食べ残しが多くなります。私たちが「食品ロス」を知り、食べきりを実践していきましょう。

(株)フソウ四国支店 小島真治

●機関紙編集委員●

- 三好光信 (株)ハウステック高松営業所
- 小島真治 (株)フソウ四国支店
- 山崎健一 シコク環境ビジネス(株)
- 堀家真大 (有)森清掃社

○印は、委員長です

「よみがえる水」No.84

- 発行年月 平成29年1月
- 発行所 公益社団法人 香川県浄化槽協会
〒761-8012 高松市香西本町1番地106
TEL(087)881-6600 FAX(087)881-6670
- 発行責任者 会長 山条 忠文
- ホームページ <http://www.kagawajk.jp>
- Eメール kjc@shirt.ocn.ne.jp